

九州運輸局メールマガジン

平成22年7月29日 第92号（発行日：毎週木曜日）

～九州の明日を拓く運輸と観光～

九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

目次

1 九州運輸局ホームページアップ情報（7月22日～7月28日掲載分）

総合案内

各種情報

分野別情報

報道発表

お知らせ

おすすめ情報

2 現場レポート

3 国土交通省からのお知らせ情報

1 九州運輸局ホームページアップ情報（7月22日～7月28日掲載分）

総合案内

<業務内容：交通環境部消費者行政・情報課>

・消費者行政レポート（平成21年度版）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/koutuu/file04/report21.pdf>

各種情報

《入札・契約情報》

・企画競争実施結果の公表について

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/100726_2.pdf

・企画競争実施予定情報の公表について（7/27付け）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_100727.pdf

《九州統計情報》

- ・自動車保有車両数（平成22年6月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/syaryosuu2206.pdf

- ・新規登録自動車数（平成22年6月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/shinkitouroku2206.pdf

- ・燃料別等自動車保有台数（平成22年6月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/nenryoubetsu22_6.pdf

分野別情報

《バス・タクシー・トラック》

- ・『低公害車普及促進対策費補助金交付申請書 [ハイブリッドタクシー・実績申請] (12月31日までに登録完了したもの)』

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file20.htm

- ・『低公害車普及促進対策費補助金交付申請書 [電気自動車タクシー・実績申請] (12月31日までに登録完了したもの)』

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file21.htm

- ・『低公害車普及促進対策費補助金交付申請書 [ハイブリッドタクシー・通常申請]』

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file22.htm

- ・『低公害車普及促進対策費補助金交付申請書 [電気自動車タクシー・通常申請]』

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file23.htm

報道発表

- ・一般貨物自動車運送事業者に対する事業停止処分

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0723-kansa.pdf>

- ・一般貨物自動車運送事業者に対する事業停止処分

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0723-kansa2.pdf>

- ・新たなPPP/RFI事業に関する全国説明会開催のご案内

～今年度、新たなPPP/PFI事業提案を募集します～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0727-kikaku.pdf>

お知らせ

・平成22年度 整備管理者選任前研修の開催日程について（前期分）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2010-0526-1032-43-3.pdf>

・平成22年度7月能力認定試験結果について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2010-0728-sikaku.pdf>

おすすめ情報

《観光関係》

・「観光・地域づくり関連施策メニュー」の改訂

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file07a.htm>

《自動車》

・自動車のリコール・不具合情報（国土交通省HPへのアクセスリンクの開設）

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/index.html>

2 現場レポート

厳原港テロ対策合同訓練

現在、開催が予定されているAPEC（アジア太平洋経済協力会議）首脳会議及び関連会合等にも関連して、全国の港湾など各地でテロ防止対策訓練が実施されています。

こうした中、さる7月21日、韓国にもっとも近い国際港湾である厳原港においても、厳原港港湾危機管理コアメンバーによる合同テロ対策訓練が実施され、九州運輸局からも海事保安・事故対策調整官等が参加しました。

今回の訓練は、厳原港におけるテロ対策の合同訓練を実施することにより、関係機関の連携・対応状況の確認と連携を一層推進するとともに、事案対処能力の向

上を図ることを目的として実施されたものです。

訓練では、「7月21日9時頃、韓国釜山港を出港、同日厳原港入港予定の貨客船「A号」により、大量の武器が密輸され、テロに使用される可能性がある。」との通報を受けた港湾危機管理担当官が厳原港港湾危機管理コアメンバーに対し速報及び緊急招集を行い、諸事の対応に着手する。」との想定のもと、情報伝達訓練、海上及び陸上保安区域警戒配備訓練、乗客の警戒、入国審査及び所持品検査訓練、不審者の制圧訓練、船員の警戒、船内詮索、制圧訓練、海上における逃走防止訓練、船内検査訓練などが実施され、本番さながらの緊張感を持って実施されました。

テロに対する水際の危機管理は、関係機関の連携強化や迅速な情報の共有化が重要であることから、こうした訓練等を通して意識の徹底や対応能力の水準の向上を図っていくことが重要であるということをあらためて認識させられました。

なお、九州運輸局では、APEC開催期間中を含む6月5日から11月6日までをテロ対策の自主警備再徹底期間とし、交通機関や重要施設等におけるテロ対策を実施し、これらの安全確保に取り組んでいます。

なお、当日の訓練の様様については、以下のURLをご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_92_2.pdf

...キーワード...

厳原港港湾危機管理コアメンバー

厳原交危機管理コアメンバーとは、外国船舶が入港する重要な港と位置づけられた厳原港において、国際テロ組織の進入や密航・密輸犯罪を未然に防止し、適切に対処するため、危機管理を担当する各行政機関の連携を図ることを目的として、関係各行政機関の長により構成されています。なお、厳原港では、危機管理担当官として、対馬海上保安部長が指名されています。

【コアメンバー】

長崎県対馬南警察署

福岡入国管理局対馬出張所

門司税関厳原税関支署

九州運輸局

長崎県対馬振興局

第七管区海上保安本部対馬海上保安部

【オブザーバー】

第七管区海上保安本部比田勝海上保安署

(海上安全環境部 海事保安・事故対策調整官)

「青雲丸見学会」を大分県別府港で実施

～練習船は大きいなあ～

去る7月10日から14日までの5日間、大分県別府港に航海訓練所練習船「青雲丸」が寄港しました。これは東京海洋大学、神戸大学海事科学部、高等専門学校及び海技大学校の実習生129名を乗せ、訓練航海の途次別府港に入港したものです。大分運輸支局ではこの機会をとらえ、九州海事産業次世代人材育成事業の一環として、小学生による練習船見学会を開催しました。

見学会の募集は、見学時間の制約もあることから大分市と別府市の小学校を対象に行い、生徒数や別府港までの距離などを検討の結果、対象校を大分市立大志生木(おおじゅうき)小学校5・6年生26人に決定しました。

担任の先生のお話しでは、昨年当支局が行った「帆船日本丸見学会」には参加できなかったものの、大変よいイベントであったとの評判を聞き申し込みを行ったとのことです。このことから、この種のイベントは継続して行う必要があると感じました。

計画段階では、開催日が梅雨の時期であったため、雨天の場合の乗下船や見学コースについて心配しましたが、当日は、子供たちの乗下船時だけ雨がやむという奇跡的な天候となりました。

見学会当日の練習船までの送迎や「見学のしおり」の作成については支局で行いましたが、船内の見学については練習船側に知見があり、子供たちを2グループに分け、片方は上回り(船橋、無線室、食堂など)、もう片方は機関室を見学するなど、スムーズに行われ、説明についても担当の航海士や機関士の方により、

懇切丁寧にかつテキパキと行われました。

また、乗組員の方が作成した文鎮や船長さん手作りの青雲丸のペーパークラフトがプレゼントされ、子供たちは大変喜んでいました。

見学後の「質問タイム」では、「船に乗っているときは、どんなことが大変ですか。」や「この船には部屋はいくつありますか。」など活発に質問が出され、乗組員の方々からは「一度船に乗ると、家族に会えないのが寂しい。」など率直な答えがありました。

イベント後提出していただいた子供たちの感想文では、「青雲丸が世界一周を7回もしていること。」「練習船では日本で2番目に大きいこと。」「船の中で発電をしていること。」などに驚いていたようです。

雨のため、昼食場所が海浜公園からフェリーターミナルになるなどのアクシデントはあったものの、練習船はもとよりフェリー会社や港湾管理者の方々の御協力により、見学会は成功裡に終わりました。

なお余談ですが、取材に新聞社やテレビ局が訪れ、掲載・放映されたことは、普段テレビ等に取り上げられることのない小さな小学校では、大きな話題となったようです。

(大分運輸支局)

「地球にやさしい内航海運」を出前講座

福岡運輸支局では、7月23日、北九州市門司区の柄杓田小学校において、国内の港間を運航する貨物船などの「内航海運」に関する出前講座を行いました。

これは、同小学校の担当の方が九州運輸局のホームページを見て「環境をテーマに内航海運の話を聞かせて欲しい。」との申込みがあり実現したものです。

小学生のレベルでは少し難しいテーマですので、導入部分や教材に気を配りつつ準備しました。

講座には、3～6年生の児童17名と、先生や父兄が参加し家庭的な雰囲気の中、パワーポイントを用いた資料を画面に映して、児童へ質問する形式で進めました。なお、資料の一例を挙げると輸送機関別の「輸送活動量」や「CO2排出量」のグラフなどです。

当支局では比較的若手？の職員に経験を積んでもらうとの趣旨で、順に講師に起用していく方針であり、今回はそのトップバッターとして運航労務監理官が務めました。

同講師の児童攻略法が功を奏したのか、彼の質問に子供たちが積極的に手を挙げ、海運の役割や地球環境に関する質問に我先に答えてくれます。中には答えを配布した資料から探して答える子もいましたが、最後には内航海運やその環境対策について大まかながら理解してくれたようです。(期待も込めてですが)

同校は全児童数が24名という比較的小規模の学校です。

今回のテーマの選定理由を担当の方に尋ねたところ、「日頃から付近の海岸清掃活動や魚のさばき方教室など、自然・環境をテーマにした取り組みを小規模校ゆえに全校を挙げて行っています。今回は、日頃から目にする船をテーマに環境学習をさせたかったから。」とのことでした。

講座での子供たちのキラキラした目と素直な態度に心が洗われる想いを抱きながら、この子供たちが将来の日本の海事産業の担い手となってくれること切に願い帰路につきました。

なお、出前講座の様様については、以下のURLをご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_92.pdf

(福岡運輸支局)

定例記者会見を開催しました。

九州運輸局は、7月26日に平成22年度第2回定例記者会見を開催しました。当日の会見項目は次のとおりです。また、資料は各URLに掲載しています。

・夏休み期間中、公共交通利用促進の取組が行われます！！

～地域公共交通活性化・再生総合事業を活用した主な取組みをまとめました～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0726-kikaku.pdf>

・観光・地域づくり関連施策メニューを改訂しました

～国の支援メニュー集～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0726-kanko.pdf>

・九州初となる「九州インバウンド・ビジネス・フォーラム2010」を10月24日(日)～29日(金)に福岡市等で開催します！

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0726-kokusai2.pdf>

・韓国の女優「チェ・ジョンウォンさん」が九州運輸局を表敬訪問します

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0726-kokusai1.pdf>

・「海フェスタながさき」開催中～海の祭典2010長崎・五島列島～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0726-ryokaku2.pdf>

(総務部広報対策官)

3 国土交通省からのお知らせ情報

広報誌「国土交通」8・9月号発行！

農耕民族である日本人は、昔から水と共に川のそばで生活してきました。

豊かさをもたらす雨は、一方で洪水や地すべりの危険をはらむ自然の猛威として恐れられ、人々はさまざまな「水を制する(=治水)とりくみ」を行ってきました。

近年、わが国では「局地的大雨(ゲリラ豪雨)」と呼ばれる気象現象が多発しています。都市化が進み、雨水は地面に吸収されずに、低い場所に一気に流れ込むようになったのです。その時、あなたはどうすればよいのでしょうか？

特集では、「雨の国・日本に暮らす」と題し、日本が誇る最先端の土木技術を結集して完成した「首都圏外郭放水路」の紹介をしています。ギリシャのパルテノ

ン神殿にたとえられる世界最大級の地下放水路の旅をお楽しみください。

本誌は、国土交通省が国民のみなさまに「お伝えしたいこと」だけでなく、みなさまが「知りたい」ことを的確にお伝えするコミュニケーションツールであると考えております。ぜひご一読いただき、下記メールアドレスまでご意見・ご感想を頂ければ幸いです。

広報誌「国土交通」8・9月号

(HPアドレス)

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_001024.html

広報誌「国土交通」に関するご意見・ご感想はこちらまでお寄せください。

kouhoushi@mlit.go.jp

この記事は、国土交通省メールマガジン(2010/7/28 第450号)より転載しました。

【編集部より】

編集部では、読者の皆様からのご意見・ご要望等を踏まえて内容の充実を図っていきたく考えています。

本メールマガジンに対する感想や皆様のお知りになりたい情報等をお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集部(九州運輸局総務部内)

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html